

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の縮小に伴い、幅広い業種に甚大な影響が出ている。
- このため、国の緊急経済対策の効果が出現するまでのタイムラグを市が支援することにより、**市内経済を支える中小・小規模事業者の事業継続を支えるため、市独自の対策として、感染拡大防止に配慮しながら、緊急に飲食店に対する支援を実施する。**
- また、収束後をにらんだ観光PRなどを実施するほか、その他の業種についても、国の経済対策あるいは地方に配分される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(仮称)」を活用しながら、今後、事業を検討し支援を行う。

実施内容

1 事業継続を支援 「飲食店事業継続支援事業」： 予算額70,300千円 【産業港湾部】

- ▶ 特に飲食店においては、観光客の減少、外出の自粛やイベントキャンセルなどにより消費が落ち込み、各店の資金繰りが悪化。
- ▶ このため、目先の資金繰りの一助として**固定費である家賃の支払いを支援し、事業継続への意欲の喚起と、地域や暮らしを守る契機とする。**
 - ✓ 対象店舗：売上が前年同月比40%以上減少している飲食店 約700店舗を想定
 - ✓ 補助額等：店舗家賃の2分の1を、2か月分(5月・6月分合せて上限10万円、千円未満切り捨て、口座振込)
 - ✓ 受付期間：令和2年4月30日～令和2年6月30日(原則、郵送又は電子メールによる受付)

2 感染拡大の抑止 「除菌電解水無料配布事業」： 予算額1,600千円 【総務部】

- ▶ 市内でアルコール消毒液が手に入りにくい状況であることから、本市が**除菌電解水の製造機器を3台購入。配布会場(市内数か所を予定)を開設し、市民や飲食店等に除菌電解水を無料配布**することで、感染拡大抑止の一助とする。

3 感染収束後に向けた観光PR 「特設ウェブサイト構築」など： 予算額2,600千円 【産業港湾部】

- ▶ 特設ウェブサイト構築：新型コロナ対策に関連する今後の取組のほか、収束後にはイベント情報などを発信するためのサイトを構築。
- ▶ SNSキャンペーン：小樽の好きな場所や景色などの投稿を募集し、抽選で100組に、収束後に利用できる宿泊券を提供。画像などの情報が広く発信されることで、収束後の小樽への訪問意欲を高める。

緊急に実施

- 『飲食店事業継続支援事業』
- 『除菌電解水無料配布事業』
- 観光PR『特設ウェブサイト構築』等

状況判断後、
速やかに実施

『飲食店応援
クーポン事業』など